

オンラインシンポジウムの開催について

ア 形式:

- ・ オンライン(zoomを想定)で開催、講演者もオンラインでの参加

イ 日程:

- ・ 日程:令和4年2月24日(木) 14時開始予定 全体で2時間15分程度の想定
開会(前田正子座長挨拶)

(1)基調講演(40分)

中央大学大学院 佐藤博樹氏

(2)女性活躍の優れた取組事例紹介(20分×3組)

- ・ 江崎グリコ株式会社 齋藤尚美氏 宮崎友恵氏 (20分)
- ・ 株式会社えんがわ 隅田徹氏(20分)
- ・ 株式会社永楽屋 宮川富子氏(フォーラム参画機関・団体代表)(20分)

(3)トークセッション(20~30分)

三崎秀央座長代理と登壇者5名にてフリートーク

閉会(前田正子座長挨拶)

ウ 方向性:

- ・ 女性活躍に向け、制度改正を前に、男性の産休(育休)の重要性を基本テーマとする
 - ・ ただし男性の産休だけでは対象(視聴者)が限定されるため、女性活躍には女性個人の頑張りだけでなく男性の理解・協力が不可欠であることを訴える
 - ・ 女性活躍は、ひいては、すべての人が活躍できるということに繋がる
- ※「男性も女性も家事、育児、介護等の責任を果たし、仕事と家庭を両立できるよう、誰もが働きやすい職場環境・社会環境づくりに向けて取り組みます。」(関西女性活躍行動宣言)

エ ねらい(視聴者に認識していただきたいこと):

- ①企業や自治体として、取り組むとよいことがある(又は取り組まないと危機的状況に陥る)こと
- ②他人事でなく、自分(視聴者個人)がどんな立場でもメリットがあること
- ③視聴者が、自分たちもできそうだと思うこと

オ 対象者

- ・ Z世代の人材活用に関心のある企業等の管理職の方
- ・ 女性活躍を推進する自治体職員
- ・ これから就職しようとする学生
- ・ その他男性版産休制度に興味のある方 等

カ 事例発表項目:

- ・ 制度の概要
- ・ 制度設計のきっかけ
- ・ 制度設計とその実践に当たった苦労
- ・ 企業経営者・管理者としてよかったこと、本人と家族としてよかったこと、同僚としてよかったこと
- ・ 視聴者の企業・自治体では、何から始めるとよいか